

～ 会派視察 ～

第2弾 旭川家具を支える大きな存在、工芸センターとデザインセンター

7月4日、旭川市工芸センターと旭川デザインセンターを視察。工芸センターは、五大家具産地の一つである旭川家具の技術的な側面を支え、業界全体を支援するため、様々な部材や製品の強度試験、耐久試験など様々な試験が可能な設備が整っている施設で、五大家具産地の中でも、こういった施設を市が独自で所有しているのは旭川だけです。現在の世界で認められる旭川家具のデザインや技術力、製品の信頼の高さがあるのは、工芸センターの存在も大きいと言えます。デザイン都市として、さらなる旭川家具の発展に向けて、今後も工芸センターの役割は大きく、そのために技術面・専門的知識を持った職員の増が必要であります。

工芸センターを視察後、旭川デザインセンターへ移動。6月に国際家具デザインコンベンション旭川2024(IFDA)が開催されました。旭川家具の歴史、本年で12回目となるデザインコンベンションにより、旭川家具の新たな可能性につながった経緯など説明を受け館内を視察。IFDAの受賞作品や歴代の旭川家具が並ぶADCミュージアムは圧巻です。3年に1度開催されるIFDAにより、世界のデザイナーとつながり、それにより旭川家具の技術力がさらに向上、デザイナーの新たな発想につながる好循環が生まれています。今後のさらなる発展が楽しみです。



第3弾 市営住宅 神楽岡ニュータウンと第2豊岡団地を視察



10月4日、市営住宅の現状を確認するため、築47年の神楽岡ニュータウンと築1年の第2豊岡団地を視察しました。築47年の神楽岡ニュータウンは、古さは感じるものの修繕していることもあって予想以上に綺麗な状態。しかしながら、修繕費が十分でないため、空き部屋全ての修繕はできていません。修繕済みの部屋がうまれば、次の部屋を修繕する形式を取っています。エレベーターがないのが大きな課題です。



築1年第2豊岡団地は、造りも今風で何もいうことはありません。建替えのため旧団地からの移転が中心となっています。本市には築年数が経過した市営住宅も多くあり、空き部屋も増えている中、今後の人口減少も踏まえて、市営住宅のあり方について検討する必要があります。今回の視察を活かします。

～市民と議会の意見交換会～

新文化会館による中心市街地活性化に向けて意見交換



11月1日、経済建設班による市民と議会の意見交換会を議場にて開催しました。テーマは「北のにぎわい旭川 ～新文化会館による中心市街地活性化に向けて～」で、現在解体中の旧総合庁舎跡地に建設予定であります新文化会館と中心市街地の活性化を別々に考えるのではなく一体と捉え、人の回遊性による波及効果などを生み出す仕掛けはどのようなものがあるのかを市民の皆さんと一緒に意見交換をさせていただきました。



旭川市議会議員

高木ひろたか

旭川市議会レポート Vol.20 2025年 冬号

高木啓尊市政相談室
旭川市永山10条12丁目3-3
Tel・Fax 0166(56)3882
http://www.takagi-hirotaka.jp
E-mail info@takagi-hirotaka.jp

～令和6年を振り返り～

大きな変化をもたらした辰年

例年12月の降雪量が多く雪かきに追われる年が続いていますが、今シーズンも同じく大雪で皆様お疲れのことと思います。

令和6年「辰年は大きな変化をもたらす」と言われていますが、良いも悪いも私にとって大きな変化をもたらした1年でありました。春には会派内でのハラスメントによって、被害者である1期生議員(2名)が会派からの離脱を決意したことにより、私は1期生議員に寄り添い、失うことのないよう私自身も会派を離れ、新しく「旭川市民連合」を立ち上げました。

4名の少数会派ですが、会派の会長として「各派会長会議」に参画するとともに、今津市長に要望書を提出するなど精力的に取り組み、貴重な経験をさせていただきました。

また、私の活動をいつも支えていただいた方が、2月、また7月にご逝去され、とても悔しく残念でなりません。ご指導いただいたことを忘れず、これからも誠心誠意努めてまいります。これまでの多大なご尽力に感謝申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

市議会議員初当選から10年目となり、年2回(夏・冬号)発行しています市議会レポートも今号で20号となりました。そして、巳年生まれの方は本年が当たり年となり、また赤いちゃんちゃんこを着る還暦となります。議員活動10年、年齢60歳の大きな節目となるこの1年も、これまでと同様経験を積み重ね、「旭川の未来、市民の生活、地域の安心」に向けて、頑張ってみます。変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

高木啓尊



～ 会派「旭川市民連合」新聞を発行 ～

名前は「Vivid あさひかわ」

定例会毎に会派新聞を発行することに決定し、現在第2号まで発行しました。会派での視察などの活動報告、各議員の質問内容など記載。この市議会レポートをはじめ、皆さんに市政報告や活動報告をお伝えしていくための方法をこれからも模索していきます。

Vividとは…光り輝く・色鮮やかな・生き生きとした



■ 2024 年 第 3 回定例会 一般質問 ～ 地域力の向上に向けて ～

希薄化する地域のつながりの中で、地域住民の生活基盤を守り、安心して暮らしていけるまちづくりに欠かすことのできない地域の力の向上にむけて、現状の問題点を明らかにし、取り組みを求めました。



現状は、町内会離れが進行し、地域力が失われかねない状況に加え、市民委員会やまちづくり推進協議会、地域包括支援センター、小中学校（小学校 51 校、中学校 26 校）のコミュニティスクールや地域学校協働活動として地域との連携の取り組みなど、様々な事業を実施するための区割りがバラバラの状態では最大の効果は得られず、支障すら出ている現状大きな課題であり、全庁的に取り組む必要があると指摘しました。

私自身、今町内会の総務部長を担っており、地域のつながり「顔が見える町内会」を子ども達、孫達に引き継いでいく責務があり、持続可能な町内会に向けてこれからも取り組みを進めていきますが、ごみステーション・防犯灯の維持・管理はもちろんのこと、住宅前間口除雪、コミュニティスクール、地域に情報を伝えるための回覧板など、地域の力に最大限の協力をいただいている行政としても、本気の取り組みが必要と強く指摘しました。

■ 2024 年 第 3 回定例会 決算審査特別委員会

【決算特委での質疑項目】

- 地球温暖化による異常気象の農業への影響について
- 有資格者の現状と対応について
- 職員の処遇・労働条件について

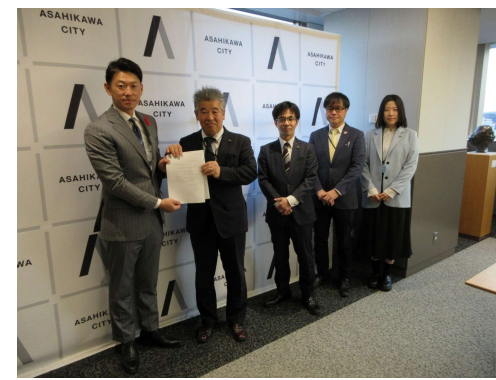
職員の処遇について質疑。これまでの懸案課題であった昇給抑制等は解消され、さらに会計年度任用職員の給与引き上げも職員と同様に改定がされたことについては一定評価させていただきました。今回新たに指摘したのが、有資格者に対する対応で、とりわけ建築部の業務で必要な建築基準適合判定資格や一級建築士などへの手当も何ら措置がなく業務を担っている現状について指摘。有資格者の人材不足も懸念される状況の中で、確保・育成に加え、やりがいを持って業務を担えるような対応が必要と強く求めました。

いつでも どこでも議会が観られる！

市議会における一般質問や代表質問、議場での質疑や特別委員会の質疑内容がインターネット中継で観られます。また、過去の質問内容も録画映像でいつでも視聴が可能です。是非、ご覧ください。

～ 旭川市議会ホームページから ～

市議会を見る・聞く ➡ 会議録、議会中継 ➡ インターネット議会中継 ➡ 議員の名前から選ぶ



～ 旭川市民連合 ～

2025 予算編成に向けた 要望書を提出

9分野31項目に思いを込めて、市長へ提出

旭川市民連合として、2025年度予算編成に向けて様々な課題について連日協議を重ね、「子どもが健やかに育つまち」「市民が安心して暮らせるやさしいまち」など、9分野31項目にまとめ上げ、11月28日今津市長に提出しました。

ヤングケアラーの問題や介護人材の育成・確保に加え、希薄化する地域のつながりの再生、職場の実態を調査した上での職員配置、カスタマーハラメントへの対応など要望内容を説明し、今津市長と意見交換を行いました。これからも、皆さんの思いを市政に活かしていきます。



2025年度予算編成に向けた旭川市民連合の要望内容

- 子どもが健やかに育つまちに向けて
 - 義務教育における子どもの学ぶ権利を守るため、算数セット等の学習用品や給食時の箸などの家庭持参品を減らし、学校での用意やリユース等の取組みを行うこと。
 - 学校給食費について、保護者負担の軽減や教職員の集金業務等による負担軽減のために公会計化等の対応を図ること。
 - 子どもが健やかに成長する権利を守るため、ヤングケアラー等の困難を抱える子どもや若者に対し、気軽に相談できる関係性や居場所づくりを行うなどの支援を拡充すること。
 - 自転車用ヘルメットの着用率の向上に向け、子育て支援の一環として児童生徒の自転車用ヘルメットの購入補助を行うとともに周知、啓発を進めること。
- 市民が安心して暮らせるやさしいまちに向けて
 - 物価高騰により市民生活や事業活動等様々な弊害が発生していることから、それら生活や経済活動を支えるため経済的な支援を行うこと
 - フードドライブ事業において、食品を受け取る側がごみや廃棄物を連想させないような配慮や、福祉的視点に基づいた運用を行うこと。
 - 超高齢社会の中で、介護を必要とする方が増加する一方で、担い手不足が大きな課題であることから、人材の育成・確保に向け積極的な（さらなる）取組みを行うこと。
 - 市営住宅の運営については、民間及び市営による木造アパート等の共同住宅の活用を促進し、コスト削減と低層階の提供促進に努めること。また、大学生や住宅困難者への提供を積極的に行うこと。
- 魅力あふれる旭川に向けて
 - 観光都市旭川をめざすなか、遅れているバス運賃のキャッシュレス化を推進するため、バス事業者が設備を導入できるように支援を行うこと。
 - 市有キャンプ場の施設整備を拡充し、魅力ある施設となるよう努めるとともに、イベント行事としての利用がしやすい環境を整えること。
 - 観光需要の落ち着いている1月に、買物公園で冬まじりのプレイベントを開催し、滑り台付き雪像など冬の旭川の魅力を伝えること。
- 活力ある中心市街地に向けて
 - ICT パークの認知度を上げ、公共ホールとしての市民利用を促進し、中心市街地への来街者を増やすために、市民が利用しやすい料金体系に見直すこと。
 - 買物公園でのイベント利用について、ワンストップ申請などの手続きの簡素化とともに、買物公園北側（4条以北）に人の流れを作るため、屋外ステージなどを整備すること。
- ジェンダー平等社会の実現に向けて
 - 男女平等社会実現のため、ポジティブアクションを含む実効的な取組みを行い、庁内のジェンダーギャップ解消に努めること。
 - 誰もが必要な時に生理用品にアクセスできる社会にするため、庁舎や図書館などの公共施設のトイレに誰でも使える生理用品を設置すること。
- 持続可能な農林業に向けて
 - 旭川市にとって重要な基幹産業である農業従事者が安心して営農を続けられるよう、国の制度も活用しながら全農業従事者に対してより積極的な支援を行うこと。
 - 道産材や旭川産材の流通を促進するため、計画的な「伐って・使って・植えて・育てる」を促進し、流通や製材を含めた産業としての活性化に努めること。
 - ヒグマの出没だけではなく、鹿やアライグマ、キツネやカラスなどによる被害が増加していることから、農業被害もあわせてこれらへの対策を更に強化し被害の軽減に努めること。
- 顔が見える地域社会に向けて
 - 希薄化する地域のつながりの再生に向けて、町内会加入率の改善など積極的な対策を講ずること。
 - 地域の安全に重要な役割を果たしている防犯灯について、昨今の電気料金の高騰により町内会等の負担が大きいことから、街路灯維持補助金の補助率の見直しを行うこと。
 - 市内各地の祭りや行事が減少しており、市民の気配や伝統が失われつつあることから、それらを存続させるためにも補助金等の拡充を行うこと。
- 意欲をもって働ける労働環境に向けて
 - 各職場の人員配置（職員数）については、業務の実態、現状を調査し把握した上で、適正に配置すること。
 - 建築部における有資格者（建築主事・一級建築士等）の人材確保の観点から、資格取得の支援を行うとともに、有資格者に対する手当措置を講ずること。
 - 定年延長に伴い不公平を是正するため、再任用職員に対し寒冷地手当を支給すること。
 - カスタマーハラスメントなど、職員が安心して働くことができるよう必要な職場への録音機器の設置及び啓発ポスターなど環境を整えること。
- その他、まちづくりに向けて
 - 気象の変化に対応可能な除排雪体制を構築するとともに、ICT化の推進により人材不足への対応を強化すること。
 - パークゴルフ場は市民の健康促進に資する施設であるため、コースの再編や整備の充実、午後割等の導入など料金体制の見直しを行い、魅力あるパークゴルフ場の運営に努めること。
 - スマートフォンによる 119 番等の緊急通報に対し、ビデオ通話で状況を把握し指示やアドバイスが行える映像通報システムを早期に導入すること。
 - 図書館や公民館など、公共施設に無料 Wi-Fi 等のインターネット環境を整備すること。
 - 下水汚泥の利活用により、経費の削減と利活用先の効果を調査し、より効果的な方法を選択することで早期に有効的な活用につなげる
 - 学生を対象にしたデザインシステムのワークショップを開催し、次代を担う若年層にデザインへの理解を醸成し、デザイン都市の理念を広めること。